

政策分析シート（令和元年度）

政策名	地球環境を守るまちの実現	政策No	07	部名	環境清掃部		
				部長名	池田	内線	480
関連部名	総務企画部						
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市				

目的 ○荒川区を、そして、かけがえのない地球を、よりよいものとして将来の世代へ引き継ぐため、「環境先進都市あらかわ」の実現を「環境区民」の共通の目標として掲げ、協働して環境の保全に取り組む。このため、環境への負荷が少ない省エネルギー、省資源型の生活や事業活動による低炭素地域づくり及び、限りある資源を循環して利用する循環型社会づくりを推進する。

指標	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文	
		28年度	29年度	30年度		
①	持続可能性	3.47	3.43	3.40	あなたは、節電やごみの減量など、地球環境に配慮した生活をしていると思いますか？	
②	周辺環境の快適さ	3.03	3.02	3.06	お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？	
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						

指標	政策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		28年度	29年度	30年度	元年度見込み	目標値(8年度)	
①	区役所温室効果ガス排出量(百トン/年-CO2)	155	161	154	118	94	「荒川区役所環境配慮率先行動プラン」に基づく
②	エコ助成利用件数	40	138	159	170	200	エコ助成利用件数
③	公害発生に関する苦情件数	163	185	127	120	70	住民等から寄せられた苦情
④	資源回収量(t)	10,376	10,354	11,237	15,260	15,810	目標値は一般廃棄物処理基本計画中間見直しの平成33年度目標値
⑤	食品ロスの削減 もったいない協力店数(店)	63	120	136	170	200	店舗数
⑥							
⑦							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	29年度	30年度	差額	行政収入	勘定科目	29年度	30年度	差額
	行政費用	給与関係費	768,457	746,255		▲ 22,202	地方税等	0	0
	物件費	1,216,702	1,314,227	97,525	国庫支出金	9,733	90	▲ 9,643	
	維持補修費	2,813	7,909	5,096	都支出金	8,305	8,033	▲ 272	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	1,067,904	1,053,616	▲ 14,288	使用料及び手数料	180,722	191,777	11,055	
	減価償却費	64,070	67,427	3,357	その他行政収入	37,566	41,997	4,431	
	不納欠損・賞与引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	236,326	241,897	5,571	
	賞与・退職給与引当金繰入額	142,388	42,715	▲ 99,673	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 3,026,008	▲ 2,990,598	35,410	
	その他行政費用	0	346	346	金融収支差額(d)	▲ 390	▲ 436	▲ 46	
	行政費用合計(b)	3,262,334	3,232,495	▲ 29,839	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 3,026,398	▲ 2,991,034	35,364	
	特別費用(g)	325,335	0	▲ 325,335	特別収入(f)	49	50	1	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 325,286	50	325,336	当期収支差額(e)+(h)	▲ 3,351,684	▲ 2,990,984	360,700	

貸借対照表	勘定科目	29年度	30年度	差額	流動負債	勘定科目	29年度	30年度	差額
	流動資産	収入未済	31	28		▲ 3	還付未済金	38,474	54,067
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	14,420	14,420	
固定資産	有形固定資産	3,200,155	3,135,372	▲ 64,783	その他の流動負債	38,474	39,647	1,173	
	土地	2,088,316	2,088,316	0	固定負債	0	0	0	
	建物	1,825,692	1,825,692	0	定額負債	1,165,144	1,084,943	▲ 80,201	
	建物減価償却累計額	▲ 781,162	▲ 843,444	▲ 62,282	特別区債	436,000	421,580	▲ 14,420	
	工作物等	157,548	157,548	0	退職給与引当金	729,144	663,363	▲ 65,781	
	工作物等減価償却累計額	▲ 90,238	▲ 92,740	▲ 2,502	その他の固定負債	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	1,203,618	1,139,010	▲ 64,608	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	2,007,143	2,004,321	▲ 2,822	
	その他の固定資産	10,575	7,931	▲ 2,644	正味財産の部合計	2,007,143	2,004,321	▲ 2,822	
	資産の部合計	3,210,761	3,143,331	▲ 67,430	負債及び正味財産の部合計	3,210,761	3,143,331	▲ 67,430	

財務諸表に関する特徴的事項等

○地球温暖化対策や資源回収事業を行っており、そのうち4割をごみの収集運搬等に係る物件費が、約3割を清掃一部事務組合に拠出する分担金にあたる補助費が占めている。
 ○貸借対象表に計上されている有形固定資産は、エコセンター、尾竹橋施設、リサイクルセンターに関するものである。

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○東日本大震災以降、再生可能エネルギーへの転換や、エネルギーの多様化が求められている。また、2015年の国連サミットにおいては「持続可能な開発のための2030アジェンダ（SDGs）」が採択され、その中では「安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保すること」や「気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じること」などが、世界的に取り組むべき環境分野の目標として掲げられている。</p> <p>○生活環境の改善要望が複雑、多様化してきている。従来の法規制のみで対応できない案件や、個々の案件が長期化する傾向にある。</p> <p>○地域特性を活かして、区民・事業者・区の協働による「あらかわ方式」の集団回収を推進してきた。</p>
課題	<p>○省エネルギー化の推進や地球温暖化対策の実施に向けては、主に若い世代や親子を対象とした普及啓発活動や、事業者に対するアプローチをさらに充実させていく必要がある。</p> <p>○環境への取組については、区民参加が不可欠である。低炭素地域づくり協議会や区民団体が形成されつつあるが、具体的な事業化や環境事業参加者が固定化しているなどの課題がある。</p> <p>○資源回収品目の拡大について検討を進めるとともに、荒川区におけるごみの排出状況や資源の分別について区民や事業者にも周知し、資源化とごみの減量をより一層推進する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○地域のコミュニティを生かした、様々な地球温暖化・ヒートアイランド対策を荒川区から発信し、地球環境対策をリードする。</p> <p>○再生可能なエネルギーや資源の活用など新たな環境保全の取組を支援する。</p> <p>○区民の環境に対する意識を高めるとともに、次代を担う子どもたちへの環境教育を推進する。</p> <p>○屋上や壁面など住まいや暮らしの中で工夫を凝らし、地域に花や緑を増やす取組を推進する。</p> <p>○区民、事業者及び行政が一体となって、資源循環型の社会づくりを進め、限りある資源の有効活用を図っていく。</p>

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
温暖化対策の推進	重点的に推進	重点的に推進	区は最も身近な基幹自治体として、区民・事業者とともに環境負荷軽減の取組を進め、地域環境と地球環境を守り育む責務がある。「環境先進都市」を目指す荒川区として本施策の重要性は高い。
資源循環型社会の形成	重点的に推進	重点的に推進	区民、事業者と行政が一体となり、3Rの視点に立った、循環型社会の実現を目指す施策を推進する。
ごみの適正処理の推進	推進	推進	区民の生活環境の保全や、快適な生活の提供のため、更なる廃棄物の適正かつ確実な処理に努める。